

宮崎大学企画総務部総務広報課

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

電話 0985-58-7114

Email [kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp](mailto:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp)

**NEWS RELEASE** (2023年7月20日) 取材依頼

## 宮大、慈恵医大、鹿大3大学単位互換協定に基づく学術交流：看護学生 交換・交流実習及び第4回高木兼寛記念シンポジウム

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

宮崎大学医学部、東京慈恵会医科大学医学部、鹿児島大学医学部は、いずれもわが国の医療・看護の発展に寄与された高木兼寛先生に縁が深いことから、学術交流の一環として、医学・看護学の教育研究をテーマとした「高木兼寛記念シンポジウム」を定期的に開催してきました。また、令和4年度からは、看護学教育に関連した「看護学教育懇談会」を開催し、学生交流を模索してきました。

この度、3大学で看護学教育に特化した単位互換協定を締結し、交換・交流実習を実施することになりました。3大学の看護学4年生が、4年間の集大成である総合実習として、令和5年7月～9月にかけて、宮崎県ホームホスピス宮崎「かあさんの家」、東京都多摩川住宅「みんなの部屋」、鹿児島県十島村中之島の3か所で交換・交流実習を行い、その成果について、宮崎市で開催される第4回高木兼寛記念シンポジウムで発表する運びとなりました。

学生実習およびシンポジウムについて、ぜひとも、取材・報道いただきますようご案内申し上げます。

### 【学術交流について】

高木兼寛記念シンポジウムは、高木兼寛先生にゆかりのある3大学が合同で開催しているシンポジウムです。宮崎大学は、高木兼寛先生の生まれ故郷である宮崎県に所在する大学です。東京慈恵会医科大学は、高木兼寛先生を学祖として創設された大学です。また高木兼寛先生は、鹿児島大学医学部の前身校である鹿児島医学校の校長・英国人医師ウィリアム・ウィリスの教え子でした。

本シンポジウムは、鹿児島大学医学部及び大学院医歯学総合研究科と東京慈恵会医科大学が締結した包括的連携協定に基づく学術交流の一環として、令和元年度に第1回シンポジウムが開催されました。第2回シンポジウムからは、東京慈恵会医科大学との大学間包括的連携協定を締結した宮崎大学も加わり、3大学合同で実施しています。

3大学での看護学教育に特化した単位互換協定は、令和5年7月に締結される予定です。

### 【看護学生交換・交流実習の場所及び日程】

宮崎県ホームホスピス宮崎「かあさんの家」：令和5年7月31日（月）～8月4日（金）

住所：〒880-0913 宮崎県宮崎市恒久2丁目19-6（ホームホスピス宮崎 事務局）

東京都多摩川住宅「みんなの部屋」：令和5年9月19日（火）～22日（金）

住所：〒182-0023 調布市染地3-1-816 多摩川住宅仮店舗A6

鹿児島県十島村中之島：令和5年7月24日（月）～7月30日（日）

住所：〒891-5201 鹿児島県鹿児島郡十島村大字中之島133（十島村立 中之島診療所）

---

【第2回看護学教育懇談会及び第4回高木兼寛記念シンポジウムについて】

第2回看護学教育懇談会

日時：令和5年9月8日（金）11:00～12:30

場所：宮崎市フェニックスリゾート コテージヒムカ Wave

テーマ：3大学連携による看護学教育の展望

第4回高木兼寛記念シンポジウム

日時：令和5年9月8日（金）14:00～17:00

場所：宮崎市フェニックスリゾート コテージヒムカ Himuka

プログラム：（進行：宮崎大学・医学部副学部長 澤口 朗 教授）

1. 開会の言葉 菱川 善隆 宮崎大学・医学部長

2. 挨拶 宮崎大学 鮫島 浩 学長  
東京慈恵会医科大学 松藤 千弥 学長  
鹿児島大学 佐野 輝 学長

3. セッション1：交換実習の試験的取り組みについての紹介  
座長 東京慈恵会医科大学・看護学科長 北 素子 教授  
鹿児島大学・医学部副学部長 八代 利香 教授  
宮崎大学・医学部看護学科長 柳田 俊彦 教授

東京慈恵会医科大学・看護学科健康科学疾病治療学 大橋 十也 教授

「慈恵医大看護学科の歴史と看護総合実習（行政看護コースを中心に）」

鹿児島大学・医学部保健学科看護学専攻 基幹看護学講座 西尾 育子 教授

「Urban Nursing&Rural Nursing を深めるための実習を目指して 一外海離島における  
Community Based Learning—」

宮崎大学・医学部看護学科 子育て世代・子ども健康看護科学講座 野間口 千香穂 教授

「ホームホスピス宮崎「かあさんの家」での実習報告 一『地域で安心して最期まで生きる』  
を支える—」

4. セッション2：医学科の研究紹介

座長 東京慈恵会医科大学・分子遺伝学研究部 玉利 真由美 教授

鹿児島大学・医学部長 大脇 哲洋 教授

宮崎大学・大学院医学獣医学総合研究科長 丸山 治彦 教授

東京慈恵会医科大学・病理学講座 下田 将之 教授

「ヒアルロン酸分解系から見た発生・疾患の理解」

鹿児島大学・大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野 金蔵 拓郎 教授

「奄美大島産シルクを用いた医薬品・医療機器の開発」

宮崎大学・医学部医学科 病態解析医学講座放射線医学分野 東 美菜子 教授

「画像診断領域の研究」

5. 閉会の言葉 片岡 寛章 宮崎大学・副学長 (17:00)

包括的連携協定に基づく学術交流の一環として開催のため、参加対象は3大学の教職員です。  
(一般参加なし)

---

---

### 【問い合わせ先】

学術交流全般に関すること

宮崎大学（第4回高木兼寛記念シンポジウム主催）：柳田 俊彦 看護学科長 TEL：0985-85-9820

東京慈恵会医科大学：北 素子 看護学科長 TEL：03-3480-1151(内 2890)

鹿児島大学： 八代 利香 副医学部長 TEL：099-275-6755

交換・交流実習に関すること

宮崎大学： 野間口千香穂 教授 TEL：0985-85-9837

東京慈恵会医科大学：嶋澤 順子 教授 TEL：03-3480-1151(内 2884)

鹿児島大学： 西尾 育子 教授 TEL：099-275-6756

---